

停電時の給油操作方法



◎停電時に給油作業を行う場合は、下記の手順にしたがって作業を行ってください。
また、給油作業を行うときは必ず電源スイッチを切り、Vベルトを外してから行ってください。

◎手動給油方法に関するご不明な点は、最寄りの当社営業所、または購入先までお問い合わせください。



警告






- 必ず計量機の主電源(AC100V, AC200V)を切ってください。急に停電が復帰すると、モーターが回って大変危険です。
- Vベルトは、危険防止のため必ず外してください。
- 停電中の手動給油の際には、必ず防護柵を設けた上で行ってください。



注意

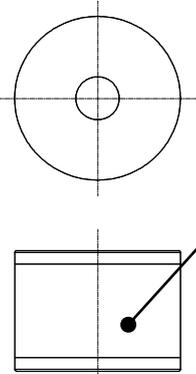



- 油のあふれに充分注意してください。手動による給油の場合は、ノズルのオートストップ機能が作動しません。
- 停電中は、POSプリセット給油、自動満タン給油、油種検知給油はできません。
- 付属の開弁用マグネットは、電気機器、磁気装置等に悪影響を与えますので、近づけないでください。

手動給油用付属部品

◎手動給油を行う前に、下記の部品をご用意ください。

- ①手廻しハンドル
 - ②弁開閉用マグネット（電磁弁付機種の場合）
 - ③工具（ラジオペンチ等）
- } . . . 付属品（オプション品）
- お客様にてご用意ください。



付属品マグネット外観

挿入方向



[停電対応マグネット(ASCO用)]
△注意

- ・本マグネットは、停電時の電磁弁(ASCO製)開閉用です。それ以外での使用はしないでください。
- ・本マグネットは、電気機器、磁気装置等に影響を与えますので、隔離して保管してください。

マグネットには、この様な注意銘板が貼り付けられています。

注意：マグネットの保管について

- ・付属品のマグネットは、計量機の電磁弁開閉専用です。それ以外では使用しないでください。
- ・電気機器、磁気装置等に影響を与えますので、隔離して保管してください。

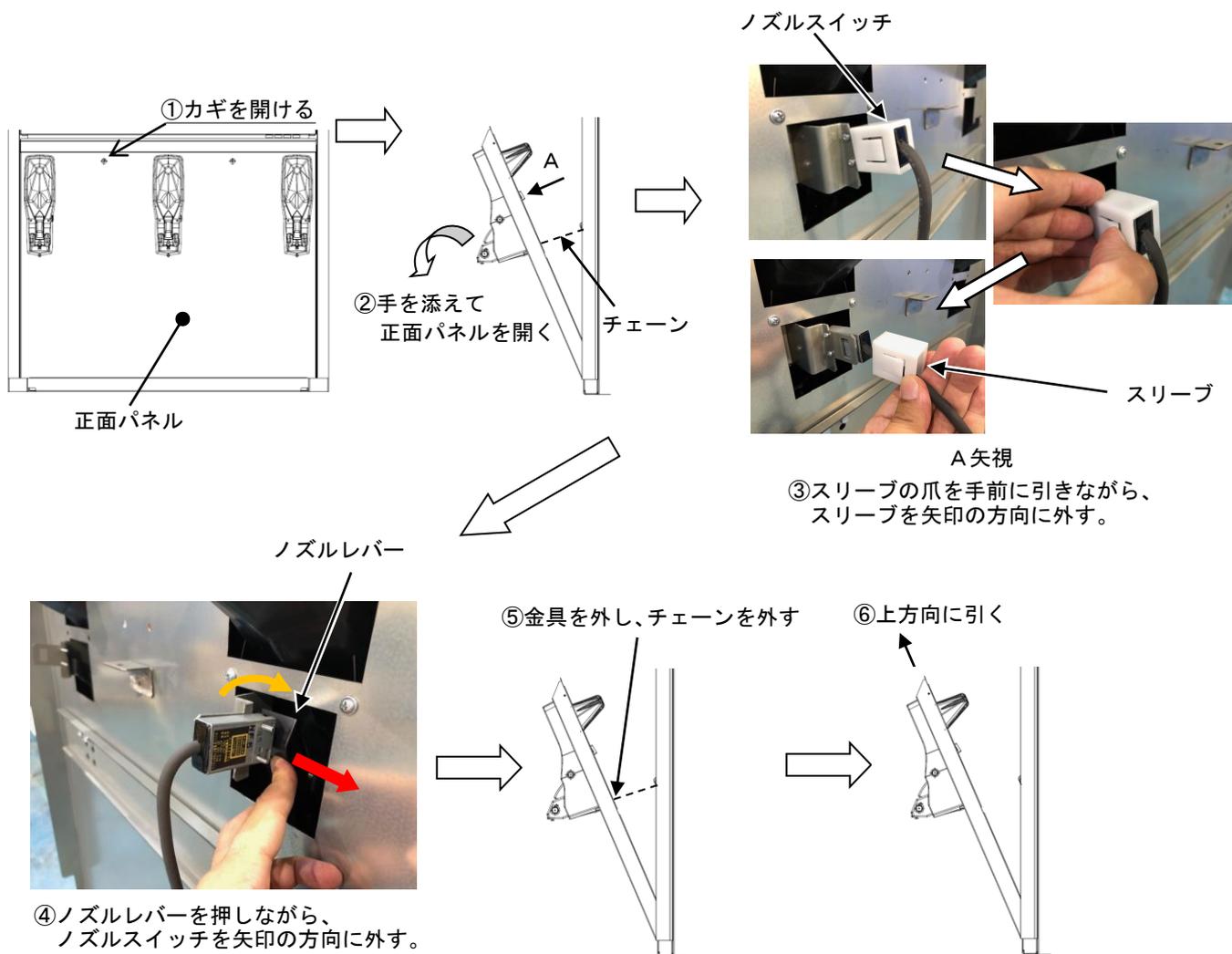
正面パネルの外し方・組付方

停電時に給油作業を行う場合は、正面パネルを外します。

正面パネル

<外し方>

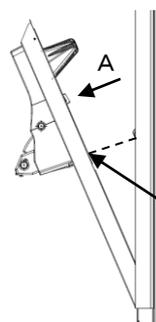
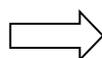
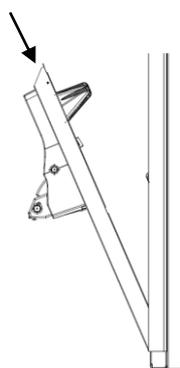
- ① カギを開けて下さい。
- ② 手を添えて正面パネルを開いて下さい。
- ③ ノズルスイッチホルダ（樹脂）を外して下さい。
(外したノズルスイッチは、給油作業の邪魔にならない位置に仮置きして下さい。)
- ④ ノズルレバーを押しながら、ノズルスイッチを外して下さい。
- ⑤ 金具を外し、チェーンを外して下さい。
- ⑥ 正面パネルを上方向に引いて取り外して下さい。



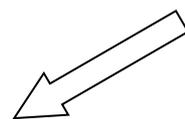
<組付け方>

- ① 正面パネルを取付けます。
- ② 金具を戻し、チェーンを組付けます。
- ③ ノズルスイッチを取付けます。(注意：スイッチのローラ側を下側にして組付け)
- ④ ノズルスイッチホルダを組み付けます。
- ⑤ 正面パネルを元の位置に戻しカギをかけます。
- ⑥ 取付後、正面パネルが外れないことを確認して下さい。

①正面パネルを取付けます。



②金具を戻し、チェーンを組付けます。



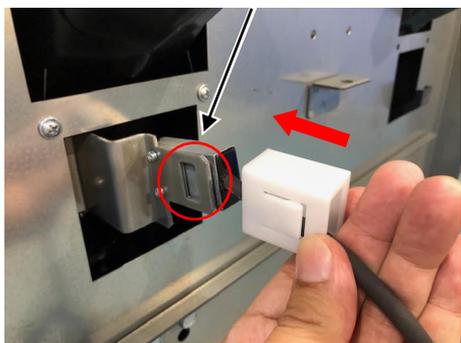
ノズルレバー



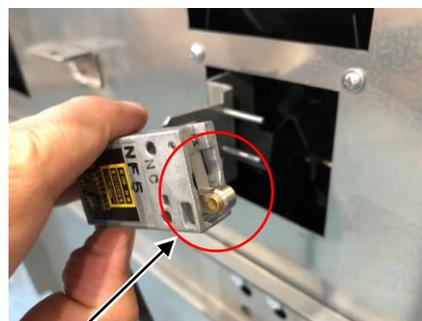
③ノズルレバーを押しながら、ノズルスイッチを矢印の方向に取り付ける

A矢視

ノズルスイッチイタ切欠き



④スリーブの爪がノズルスイッチイタの切欠きに「パチッ」とはまるまで矢印の方向に押し込みます。



<注意>

- ・ノズルスイッチのローラ部を下側にして組付けして下さい。
- ・ノズルレバーを押さずに、ノズルスイッチを組付けすると、ローラ部が変形し、スイッチが機能しなくなる恐れがあります。

手動給油方法

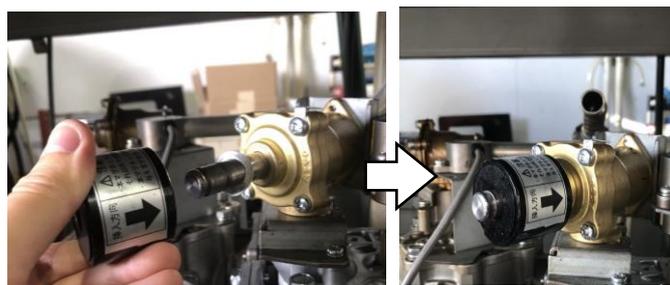
1. 計量機の主電源(100V, 200V)を切ってから、正面パネルを外します。
(P. 6-11 を参照ください。)
2. 安全のため、Vベルトを外します。
3. 電磁弁付き機種の場合
 - (1)右図に従って、電磁弁のコイルを外します。
注1. クリップは紛失しないよう注意してください。
 - (2)付属のマグネットを右図に従って、電磁弁のコイル挿入部に差し込みます。
注1. マグネットには、挿入方向があるので、注意してください。
4. ノズルを給油口に差し込み、ノズルレバーを引きラッチにかけます。
注1. 手動給油の場合は、ノズルのオートストップ機能が作動しません。油のあふれに注意してください。
2. 安全機能付き(セフティロック)ノズルの場合、圧力が低いと給油が出来ません。5.による手廻し操作で回転をさせながらノズルレバーを引いてください。(回転を止める毎に実施してください。)
5. 付属の手廻しハンドルをプーリに取付け、時計方向に回して給油します。
(20回の手廻しで約2L給油できます。)
6. 給油量は、給油前に機械式積算計の量を記録し、給油後の量との差で算出します。
(積算計付機種の場合)
7. 給油終了後は、手廻しハンドルを外し、Vベルトを取付けます。電磁弁付き機種の場合は、忘れずにマグネットを外し、コイルを再び取付けしてください。
8. 正面パネルを元に戻します。(P. 6-12 を参照ください。)
9. 停電復帰後に、計量機の主電源(100V, 200V)を入れます。



① クリップを工具(ラジオペンチ等)で引き上げる
(クリップは紛失しないよう注意してください)



② コイルを電磁弁から取外す



③ マグネットを電磁弁に取り付ける



④ 手回しハンドルをプーリに取付け給油する



⑤ 給油後、コイルを電磁弁に戻し、
クリップを電磁弁軸の溝部に組み込む